

ツバキの里まちめぐり Aコース



縄文の里・御経塚のツバキ

歩行距離 約 2.7 km



スタート

イオン御経塚店

野々市市の情報ステーションが2階にある。市内のことを調べてからスタート!

経塚公園・泉の広場

園内に15本程度のツバキ。県内でも数少ない平地に立地する経塚がある。経典を守るため祠に祭られていたと思われる「石造傳太子像」は、ふるさと歴史館に展示されている

馬場川遊歩道

市内で最もサクラ並木が美しい遊歩道。馬場川は郷用水の下流域を流れる2級河川

佐那武神社

境内の南側のツバキは見事である。毎年7月20日前後に行われる御経塚の虫送りの行列は、この神社から出発する

御経塚東公園

県営あすなる団地の北西の角にある公園。国道8号沿いの隠れたツバキの名所。園内を取り巻くように植えられている

御経塚遺跡 ふるさと歴史館

県内最大級の縄文遺跡の史跡公園。ツバキは大木の下にひっそり咲く。ふるさと歴史館には御経塚遺跡から出土した遺物を中心に展示。野々市の古代から近世までの歴史を学ぶこともできる。入館無料
TEL 076-246-0133

イオン御経塚店

ゴール



【御経塚遺跡】

縄文時代後期中葉～晩期(約3,700～2,500年前)にかけて営まれた径約200mの円形をした大集落跡で、1954年(昭和29)に地元の中学生によって発見されました。その後の発掘調査では、竪穴住居跡や掘立柱建物跡などのほかに、数えきれないほどの土器や石器、装身具やまじないに使われたと思われる不思議な形をした石製品が出土しており、北陸の縄文時代晩期を代表する遺跡として全国的にも注目を集めました。大変貴重な遺跡であるため1977年(昭和52)には国の史跡に指定され、現在は約15,000㎡が史跡公園として整備されており、周辺住民の憩いの場および歴史教育の場として有効活用されています。

